

## 第11章 手形

- ① 手形の振り出し・受け入れ・引受
- ② 手形代金の取立て・支払
- ③ 手形の裏書譲渡と割引
- ④ 受取手形記入帳と支払手形記入帳
- ⑤ 手形貸付金と手形借入金

# 1. 手形の振り出し・受け入れ・引受

## 約束手形

- 約束手形
  - 受取手形: 約束手形を受け取り、期日がきたら(銀行に持っていく)約束された代金を受け取る。
  - 支払手形: 約束手形を振り出し、期日には(銀行口座に引き落としのできる残高を用意しておき)約束した代金を支払う。
- Case Study: 群馬商店は、東京商店より商品70,000円を仕入れ、代金は約束手形を出して支払った。両商店の仕訳をすること。

### 群馬商店

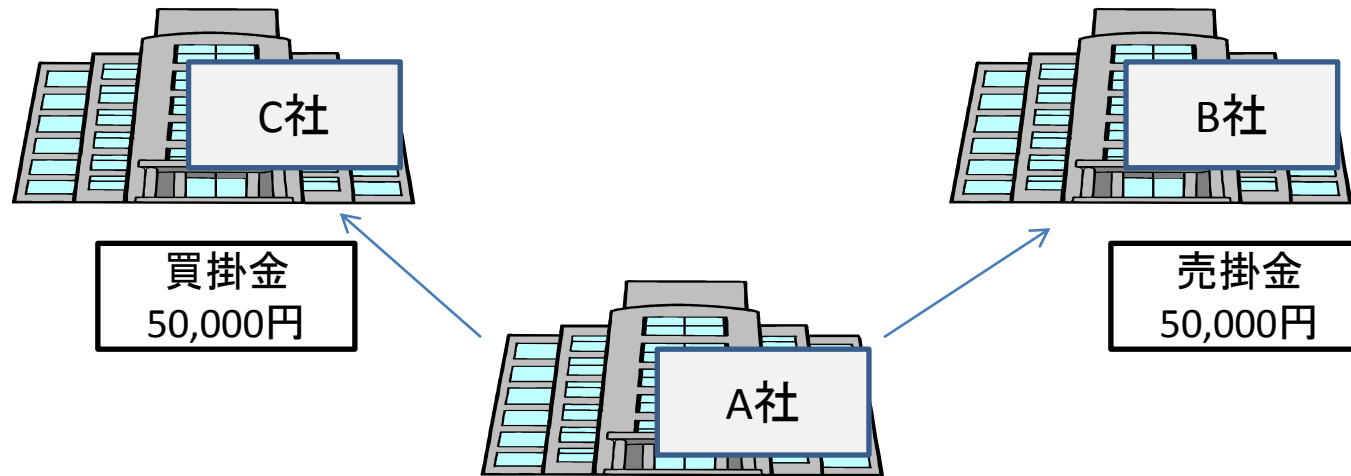
(借)	仕入	70,000	(貸)	支払手形	70,000
-----	----	--------	-----	------	--------

### 東京商店

(借)	受取手形	70,000	(貸)	売上	70,000
-----	------	--------	-----	----	--------

## • 為替手形

- 為替＝現金以外で取引等の決済を行う方法で、輸出入などの取引で多く利用される。



No. 56 為替手形 AP 10567

支払人(引受人)B社 殿  
金額 ¥50,000 金

支払期日	平成24年2月1日
支払地	大阪市中央区
支払場所	三井住友銀行玉造支店

受取人 C社 殿またはその指図人  
へこの為替手形と引換上記金額お支払ください。

平成23年12月1日  
振出地住所 兵庫県西宮市〇〇  
差出人 A社  
代表取締役 大阪 女子子

引受	平成23年12月1日
神戸市〇〇	
B社	

## 為替手形の処理

➤ A社は、C社より商品80,000円を仕入れ、代金は得意先B社宛ての為替手形を振り出し、B社の引受を得て、C社に渡した。A社、B社、C社の仕訳をすること。

□ まず、この取引の前にA社はB社に掛にて¥80,000の商品を売り渡したとする。するとA社にはB社への売掛金¥80,000が、またB社にはA社への買掛金¥80,000が存在することになる。

### A社

(借)	売掛金(B社)	80,000	(貸)	売上	80,000
-----	---------	--------	-----	----	--------

### B社

(借)	仕入	80,000	(貸)	買掛金(A社)	80,000
-----	----	--------	-----	---------	--------

- 次に、A社が、C社より商品80,000円を掛で仕入れると、次のような仕訳となる。

A社

(借)	仕入	80,000	(貸)	買掛金(C社)	80,000
-----	----	--------	-----	---------	--------

C社

(借)	売掛金(A社)	80,000	(貸)	売上	80,000
-----	---------	--------	-----	----	--------

- A社(振出人)はB社(名宛人、支払人)の引受を得て、B社宛ての為替手形を振り出し、C社(受取人)に渡すと、A社のC社への買掛金(支払い義務)がなくなると同時にB社への売掛金(受取る権利)がなくなる。
- 同時にB社はA社への買掛金(支払い義務)の代わりにC社受取りの支払手形の支払い義務が発生する。

A社

(借)	買掛金(C社)	80,000	(貸)	売掛金(B社)	80,000
-----	---------	--------	-----	---------	--------

B社

(借)	買掛金(A社)	80,000	(貸)	支払手形(C社受取)	80,000
-----	---------	--------	-----	------------	--------

- またC社はB社支払いの受取手形を受取る代わりに、A社への売掛金(代金受け取りの権利)を失う。

C社

(借)	受取手形(A社振出、 B社支払)	80,000	(貸)	売掛金(A社)	80,000
-----	---------------------	--------	-----	---------	--------

## ①&② 手形の振り出し・受け入れ・引受、手形代金の取立て・支払（例題）

- ① 宮城商店は兵庫商店に商品¥300,000を売り渡し、代金は掛とした。
- ② 宮城商店は福井商店より商品¥250,000を仕入れ、代金としてかねて売掛金のある兵庫商店あての為替手形を振り出し、兵庫商店の引き受けを得て福井商店に渡した。
- ③ 福井商店は、かねて取立てを依頼しておいた宮城商店振り出しの為替手形¥250,000を当座預金に入金した旨、期日に取引銀行から通知を受けた。

### 宮城商店

①	（借）	売掛金	300,000	（貸）	売上	300,000
---	-----	-----	---------	-----	----	---------

### 兵庫商店

①	（借）	仕入	300,000	（貸）	買掛金	300,000
---	-----	----	---------	-----	-----	---------

---

### 宮城商店

②	（借）	仕入	250,000	（貸）	売掛金	250,000
---	-----	----	---------	-----	-----	---------

### 兵庫商店

②	（借）	買掛金	250,000	（貸）	支払手形	250,000
---	-----	-----	---------	-----	------	---------

### 福井商店

②	（借）	受取手形	250,000	（貸）	売上	250,000
---	-----	------	---------	-----	----	---------

---

### 兵庫商店

③	（借）	支払手形	250,000	（貸）	当座預金	250,000
---	-----	------	---------	-----	------	---------

### 福井商店

③	（借）	当座預金	250,000	（貸）	受取手形	250,000
---	-----	------	---------	-----	------	---------

### ③ 手形の裏書譲渡と割引

- 用語

- 裏書:持っている受取手形を(代金の代わりなどとして)第3者に渡す。
- 割引:持っている受取手形を銀行などに持っていく手数料を払い現金に換える。

- 裏書譲渡: 埼玉商店は、仕入先東京商店より商品70,000円を仕入れた。代金の支払いは、先日受け取った得意先川崎商店振出しの約束手形を裏書譲渡した。

(借)	仕入	70,000	(貸)	受取手形	70,000
-----	----	--------	-----	------	--------

- 手形の割引:大阪商店は、神戸商店振出し の約束手形40,000円を銀行で割引き、手形売却損(手数料)3,000円を差し引いた残額を当座預金に入金した。

(借)	当座預金	37,000	(貸)	受取手形	40,000
	手形売却損	3,000			



## ④ 受取手形記入帳と支払手形記入帳

(A社の)受取手形記入帳

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	支払人	差出人 または 裏書人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	B商店	B商店	9	2	10	26	第一銀行	200,000	10	5	割引: 当座入金、売却損 ¥13,000
	16	為替手形	13	売掛金	D商店	C商店	9	16	11	16	第二銀行	300,000	11	16	当座入金

(A社の)支払手形記入帳

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	受取人	差出人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	4	約束手形	12	仕入	E商店	B商店	9	4	10	26	第三銀行	650,000	10	26	当座支払
	9	為替手形	22	会掛金	F商店	G商店	9	9	11	20	〃	380,000			

➤ Case Study 1: 前スライドの受取手形記入帳の以下の日付の仕訳を行いなさい。

- ① 9月2日
- ② 9月16日
- ③ 10月5日
- ④ 11月16日

(A社の)受取手形記入帳

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	支払人	差出人または裏書人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	リス商店	リス商店	9	2	10	26	サイ銀行	200,000	10	5	割引: 当座入金、売却損 ¥13,000
	16	為替手形	13	売掛金	イヌ商店	ネコ商店	9	16	11	16	キリン銀行	300,000	11	16	当座入金

9月2日

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	200,000	売上	200,000

9月16日

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形	300,000	売掛金	300,000

10月5日

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	187,000	受取手形	200,000
手形売却損	13,000		

11月16日

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	300,000	受取手形	300,000

## 受取手形帳のしくみ

9月2日:A社はB商店に商品¥200,000を売り渡し、代金はB商店振出しの約束手形(#15)を受け取った。  
振出日 9月2日、満期日 10月26日、支払場所 第一銀行

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形(B商店振出)	200,000	売上	200,000

平成23 年		手形 種類	手形 番号	摘要	支払 人	差出人 または 裏書人	振出し日		満期日		支払 場所	手形金 額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	B商店	B商店	9	2	10	26	第一銀行	200,000			

9月2日:A社はB商店に商品¥200,000を売り渡し、代金はB商店振出しの約束手形(#15)を受け取った。  
振出日 9月2日、満期日 10月26日、支払場所 第一銀行

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形(B商店振出)	200,000	売上	200,000

9月16日:A社は8月にC商店に商品¥300,000を掛にて売り渡していたが、9月16日にC商店振出、D商店あて、  
当社(A社)受取の為替手形(#13)¥300,000を受け取った。  
振出日 9月16日、満期日 11月26日、支払場所 第二銀行

借方科目	金額	貸方科目	金額
受取手形(C商店振出、D商店支払い)	300,000	売掛金(C商店)	300,000

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	支払人	差出人 または 裏書人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	B商店	B商店	9	2	10	26	第一銀行	200,000			
	16	為替手形	13	売掛金	D商店	C商店	9	16	11	16	第二銀行	300,000			

10月5日:B商店振出しの約束手形(#15)を割引き、割引料¥13,000を差し引かれ、手取り金は当座預金とした。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	187,000	受取手形(B商店振出)	200,000
手形売却損	13,000		

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	支払人	差出人または裏書人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	B商店	B商店	9	2	10	26	第一銀行	200,000	10	5	割引:当座入金、売却損¥13,000

10月5日:B商店振出しの約束手形(#15)を割引き、割引料¥13,000を差し引かれ、手取り金は当座預金とした。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	187,000	受取手形(B商店振出)	200,000
手形売却損	13,000		

11月16日:取引銀行からC商店振出しの為替手形(#13)¥300,000が取立済みである旨通知があった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	300,000	受取手形(C商店振出、D商店支払い)	300,000

平成○年		手形種類	手形番号	摘要	支払人	差出人 または 裏書人	振出し日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
							月	日					月	日	摘要
9	2	約束手形	15	売上	B商店	B商店	9	2	10	26	第一銀行	200,000	10	5	割引:当座入金、売却損 ¥13,000
	16	為替手形	13	売掛金	D商店	C商店	9	16	11	16	第二銀行	300,000	11	16	当座入金

## ⑤ 手形貸付金と手形借入金

- 商取引と金融取引
  - 商取引: 商品売買取引。
  - 金融取引: お金の貸し借り。→ 借用証書 → 手形貸付金 (資産)、手形借入金 (負債)
- Case Study: A商店は、B商店に約束手形を振り出して、1,000,000円を現金で借り入れた。両商店の仕訳を行いなさい。

A社

(借)	現金	1,000,000	(貸)	手形借入金	1,000,000
-----	----	-----------	-----	-------	-----------

B社

(借)	手形貸付金	1,000,000	(貸)	現金	1,000,000
-----	-------	-----------	-----	----	-----------